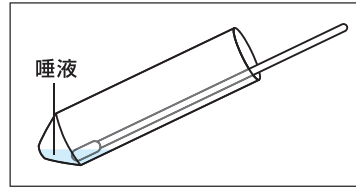
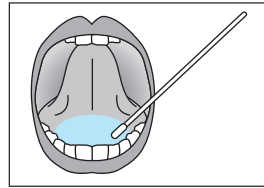
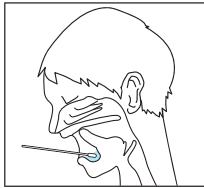


# イムノエース<sup>®</sup> SARS-CoV-2 Saliva 操作方法

株式会社 **タウンズ**  
お問い合わせ先 ☎ 0120-048-489  
受付時間 / 9:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休業日を除く)

## ■ 検体採取



### 口腔採取法

舌先を上あごに押し当て口腔底に唾液を溜めます。溜めた唾液にキット付属のスワブを10秒以上浸し、その後5回以上回転させながら綿球全体に浸みわたらせてください。

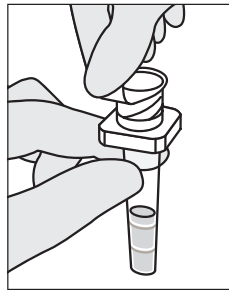
### 容器採取法

滅菌容器等に1~2mL程度の唾液を採取します。採取後、キット付属のスワブを唾液に浸し、回転させながら綿球全体に浸みわたらせてください。

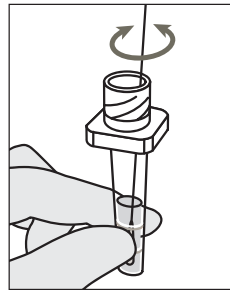
### 【注意点】

- ① 採取した検体は、できる限り早く添付文書に記載の【用法・用量(操作方法)】に従い試料調製し、検査を行ってください。
- ② 検体は感染の危険性があるものとして、十分に注意して取扱ってください。
- ③ 飲食や歯磨き、うがい直後の唾液採取はウイルスの検出に影響を与える可能性がある為、目安として飲食や歯磨きを行った後30分以上の時間を空けてください。
- ④ 唾液検体に喀痰等の粘性成分が多量に含まれると反応に影響を与える可能性があるため、自然に徐々に流出する唾液を滅菌容器等又は口腔底に溜めてください。
- ⑤ 脱水等により唾液が出にくい被検者より採取した唾液を用いた場合、正確な結果を得られない可能性があります。

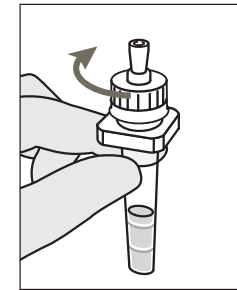
## ■ 試料調製



検体抽出液の容器のアルミシールを液が飛び散らないように剥がします。

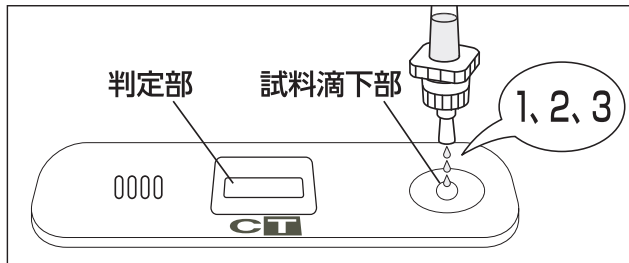


検体採取後のスワブを検体抽出液に浸し、容器の外側からスワブの頭部を軽くつまみ5回以上左右に回転させ、上下に動かし攪拌します。抽出後、容器の外側からスワブの頭部をつまみ、試料を絞り出すようにスワブを引き抜き、試料とします。



検体抽出液の容器の上端に付属のノズルを被せてしっかりと閉めます。

## ■ 試料滴下



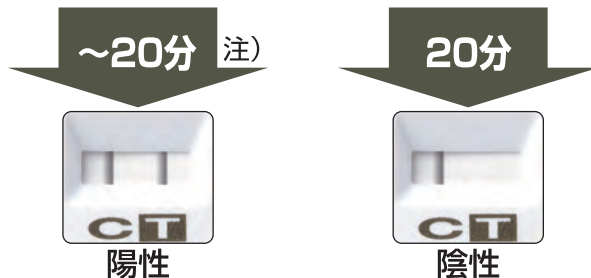
検体抽出液の容器の中ほどをつまみ、テストプレートの試料滴下部に試料3滴を滴下します。

**⚠ 注意**  
テストプレートは開封後すぐに使用してください。

### 注意事項

- ① 滴下するとき、検体抽出液の容器は垂直に保持し、ノズルの先端が試料滴下部に触れないよう注意してください。
- ② テストラインは、ラインの濃淡にかかわらず、目視で確認できれば陽性です。
- ③ ラインは区分されている各判定部内であれば、その位置にかかわらず有効です。
- ④ フィルターに目詰まりするほどの強粘性の試料は、生理食塩水で2倍希釈して使用してください。
- ⑤ 抗原量が非常に多い場合には、判定部[T]に非常に濃いラインが認められ、判定部[C]にラインが認められないことがあります。このような場合は、新しい検体抽出液1本に対して試料を1滴滴下し、十分に混和し、希釈調製したものを試料としてください。
- ⑥ 滴下量が多すぎた場合には、本品の測定原理から白金-金コロイド標識抗体が希釈されることにより反応が遅延し、判定時間内に判定部[C]及び/又は[T]にラインが認められない、又はラインが薄くなる場合があります(偽陰性)。

## ■ 判 定



注) 20分より前でも判定部[T]及び[C]の両方にラインが認められた場合には陽性と判定してください。